

第3回
大野市屋内型子ども遊び場整備事業
基本計画策定委員会

議 事

- ① コンセプトと基本方針について
- ② ゾーニング・配置
- ③ 付属スペースと必要な機能
- ④ 導入する遊具の検討
- ⑤ バリアフリー・安全管理対策
- ⑥ 駐車場等について
- ⑦ 管理運営に係る基本方針

①コンセプトと基本方針について

コンセプト

大野の魅力を体感できる「あそび」の広場

大野の魅力をテーマとした遊具などで遊ぶことで、子どもたちの地域への誇りと愛着を育み、利用者の方にも大野の魅力が伝わる空間を創出

基本方針

1. いつ来ても楽しく賑わいのある遊び場
2. みんなが満足する遊び場
3. 安全で安心な遊び場

②ゾーニング・配置

必要な機能・スペース

遊び機能（遊びスペース）

- ・ 年齢別遊具エリア
- ・ 多目的エリア
- ・ 見守りエリア

創作機能

ワークショップスペース

各種ワークショップ等

に対応できる部屋

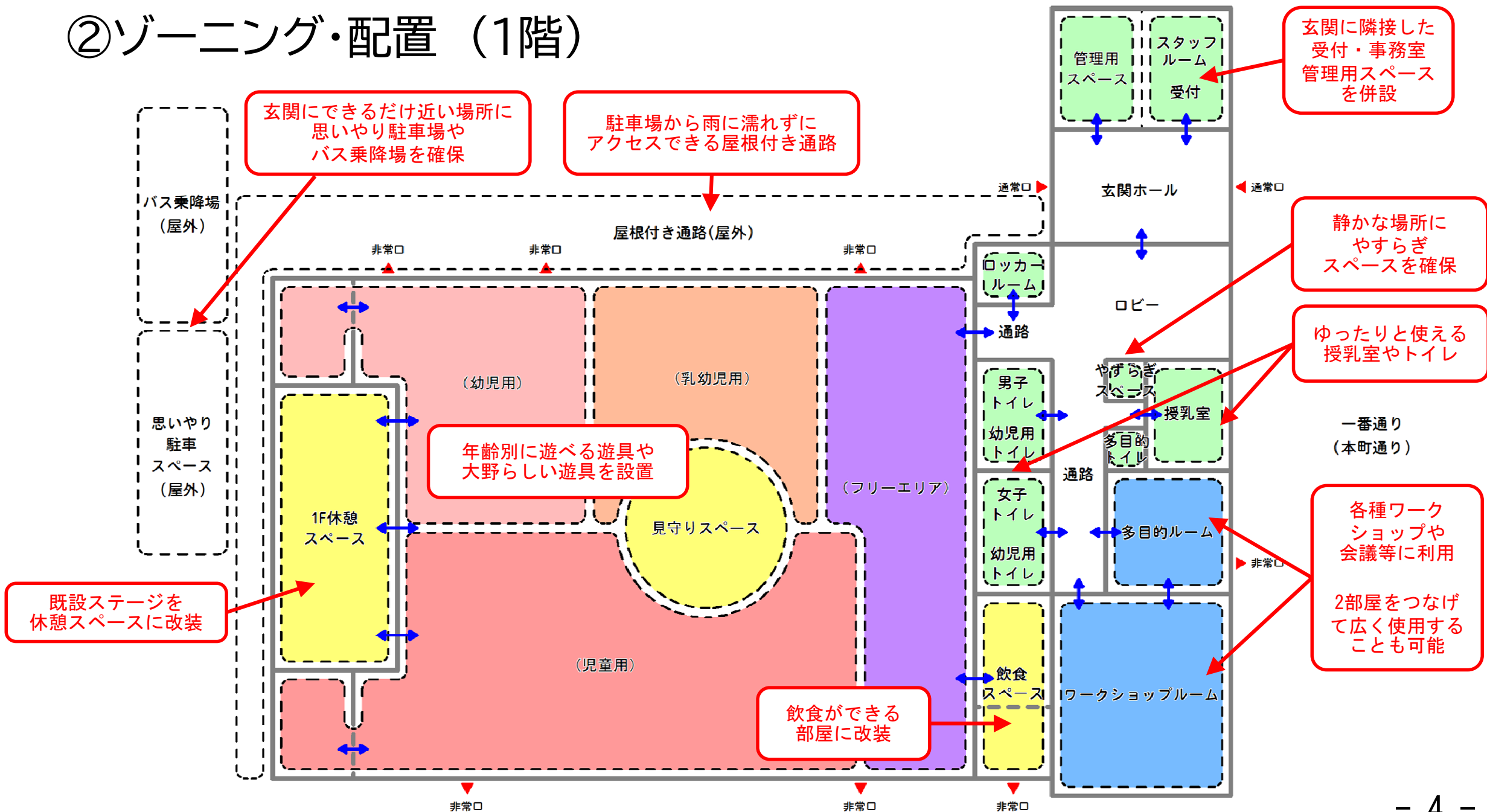
その他の機能

- ・ 飲食スペース
- ・ 休憩スペース
- ・ 多目的ルーム
- ・ 子育て相談スペース
- ・ 授乳室
- ・ トイレ・幼児用トイレ
- ・ やすらぎスペース
- ・ 玄関・通路・倉庫など
- ・ スタッフルーム・受付

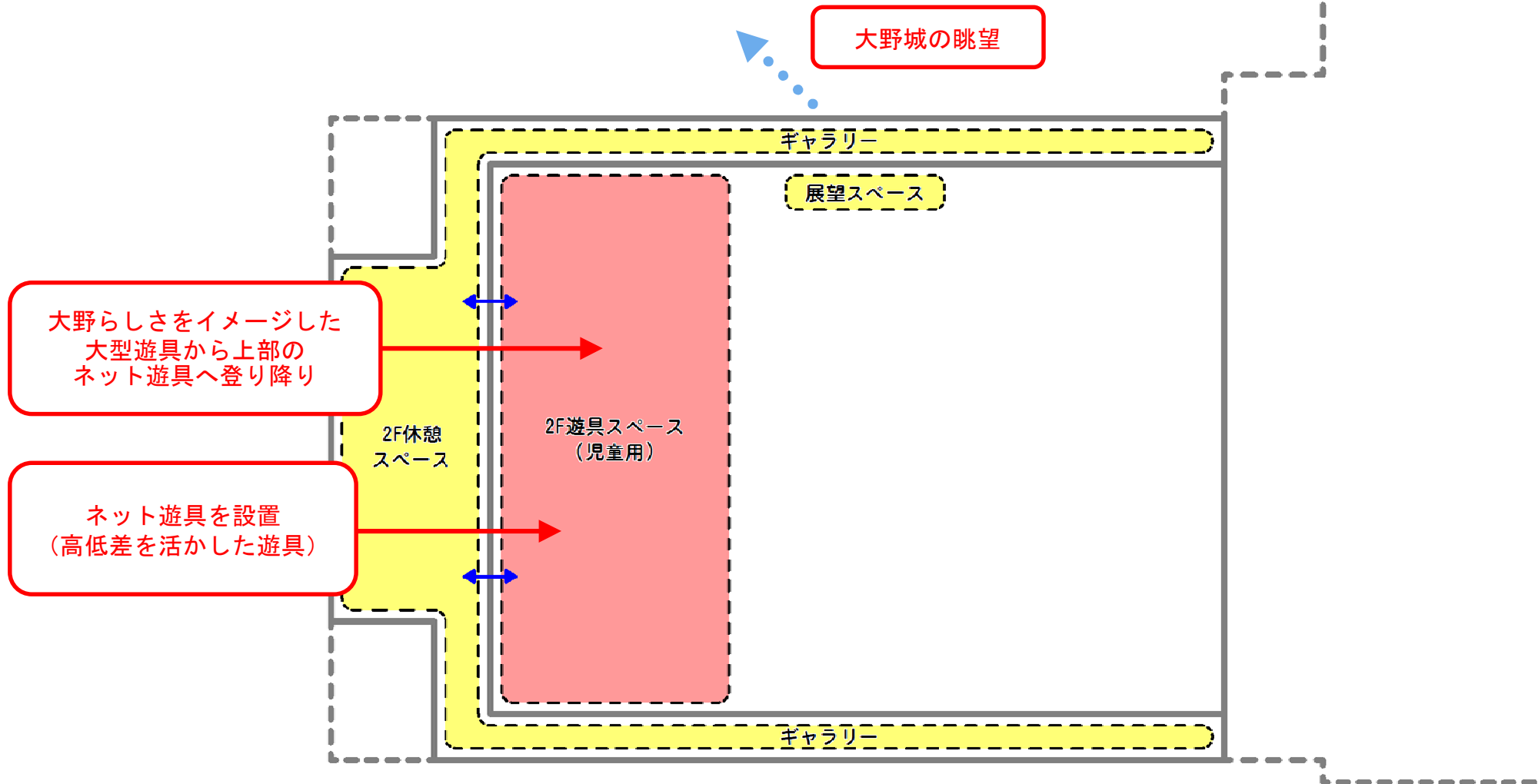
（屋外）

- ・ 思いやり駐車場
- ・ バス乗降場

②ゾーニング・配置 (1階)

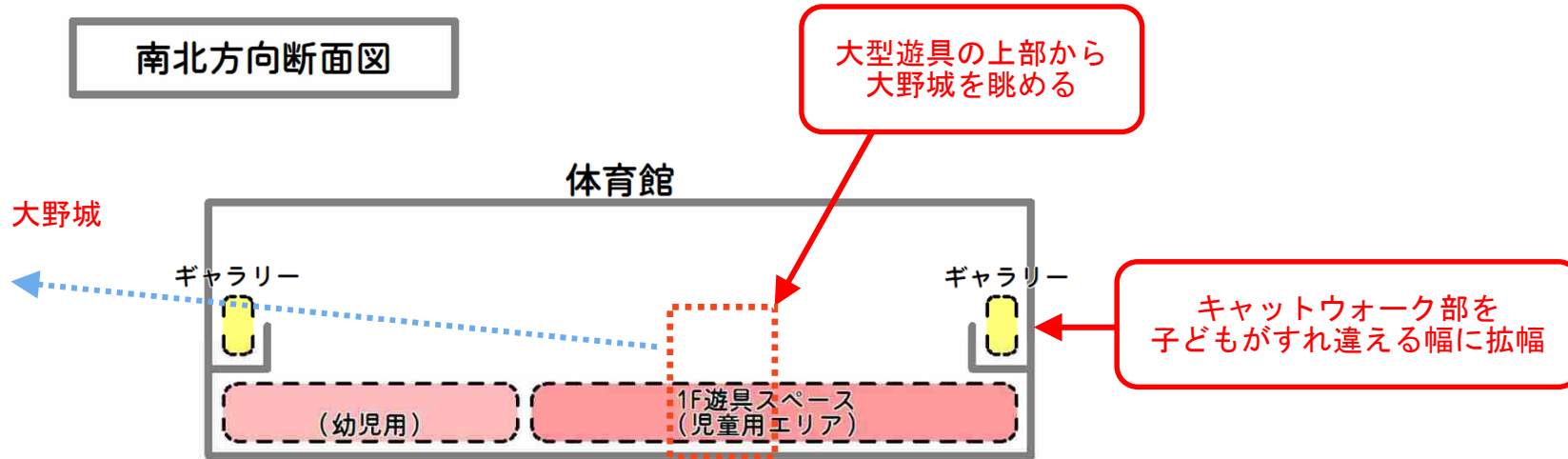


②ゾーニング・配置（2階）

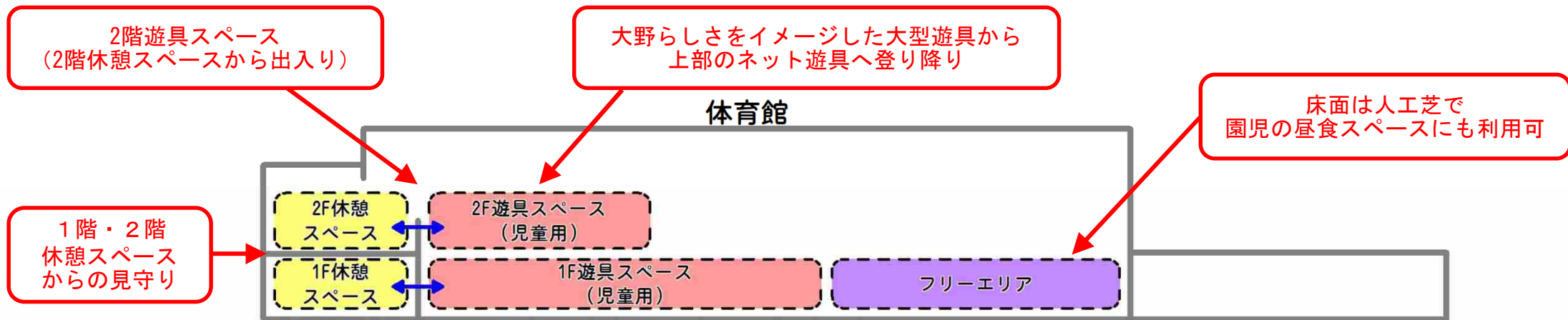


②ゾーニング・配置（断面）

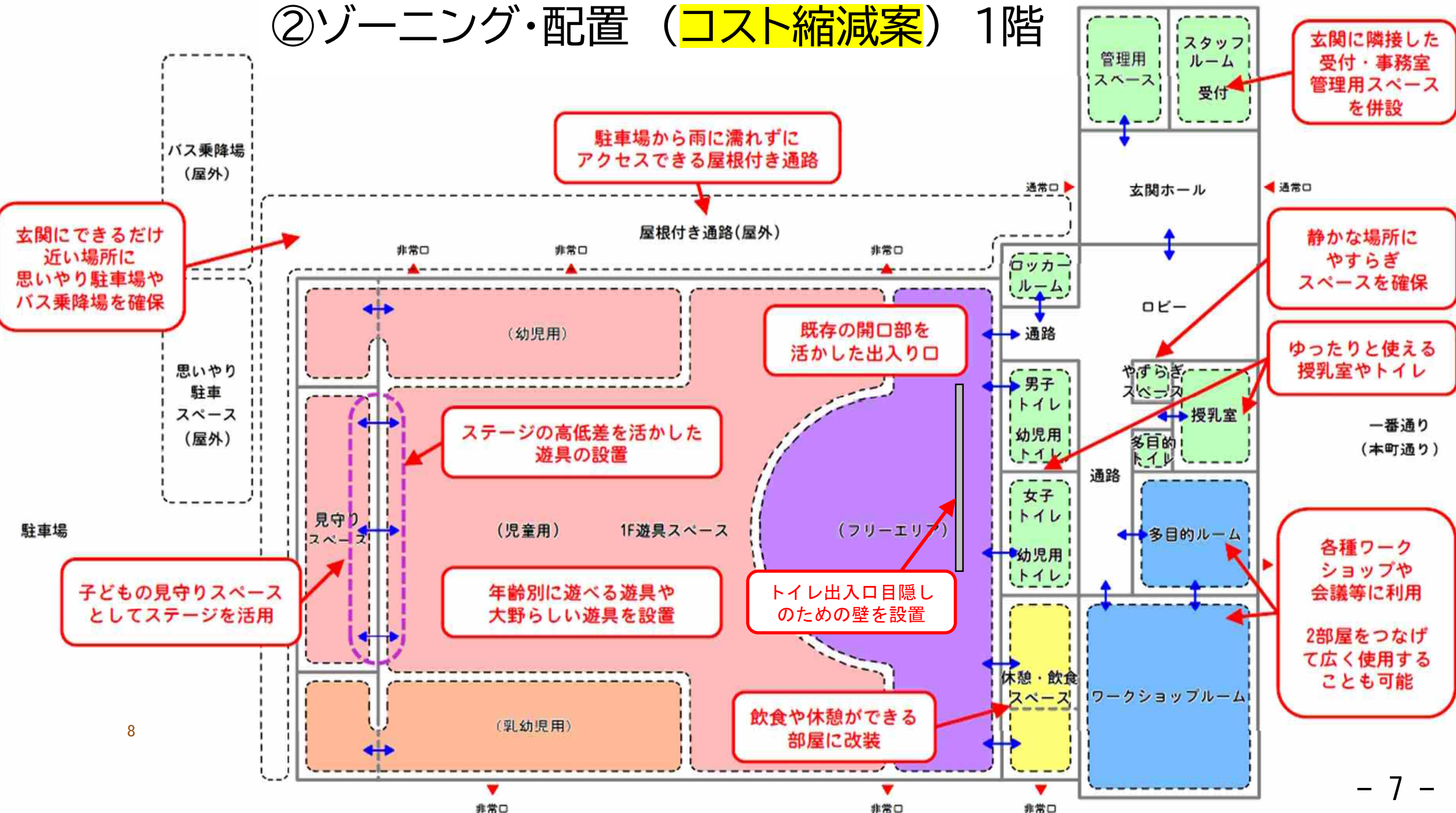
南北方向断面図



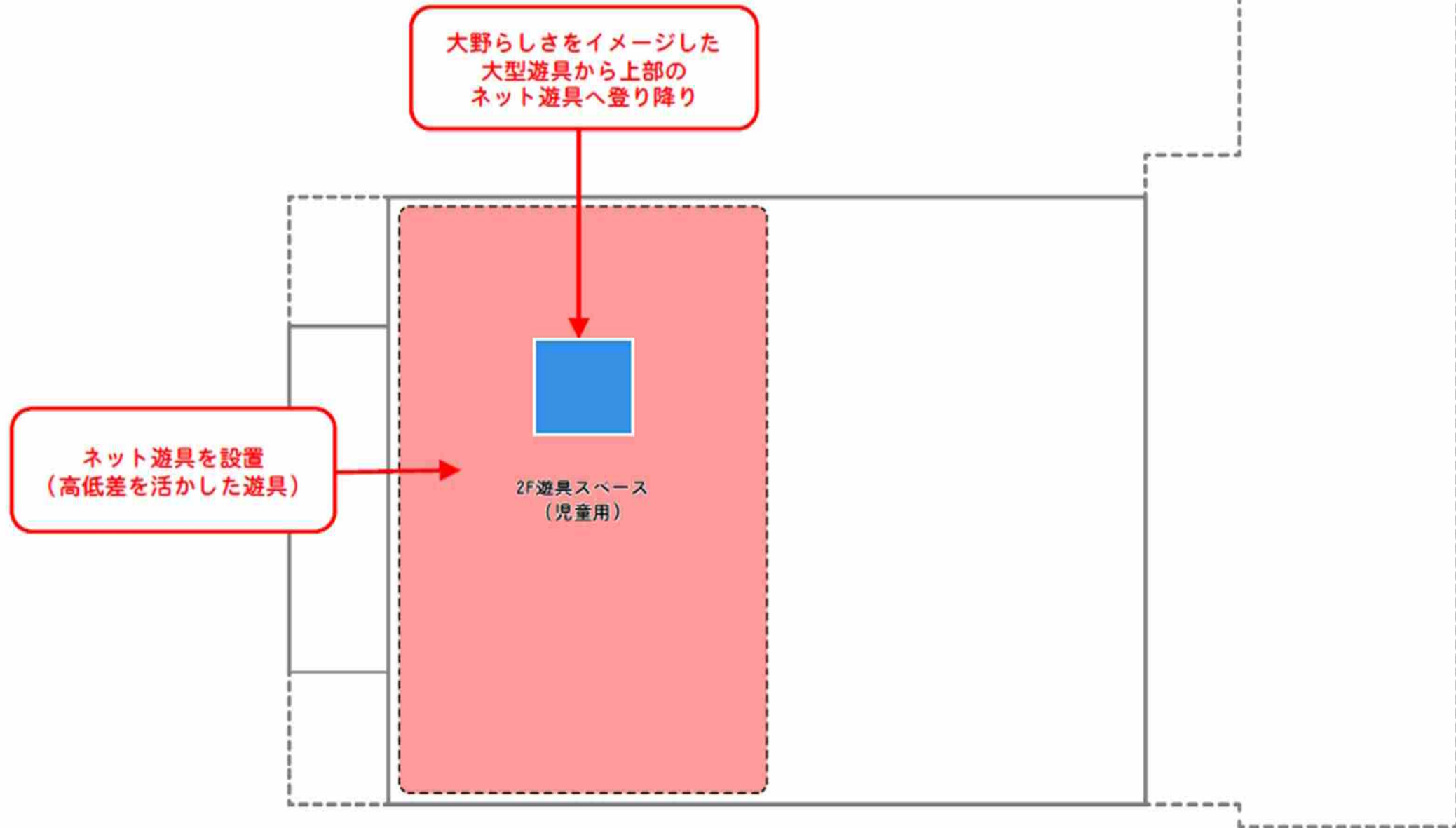
東西方向断面図



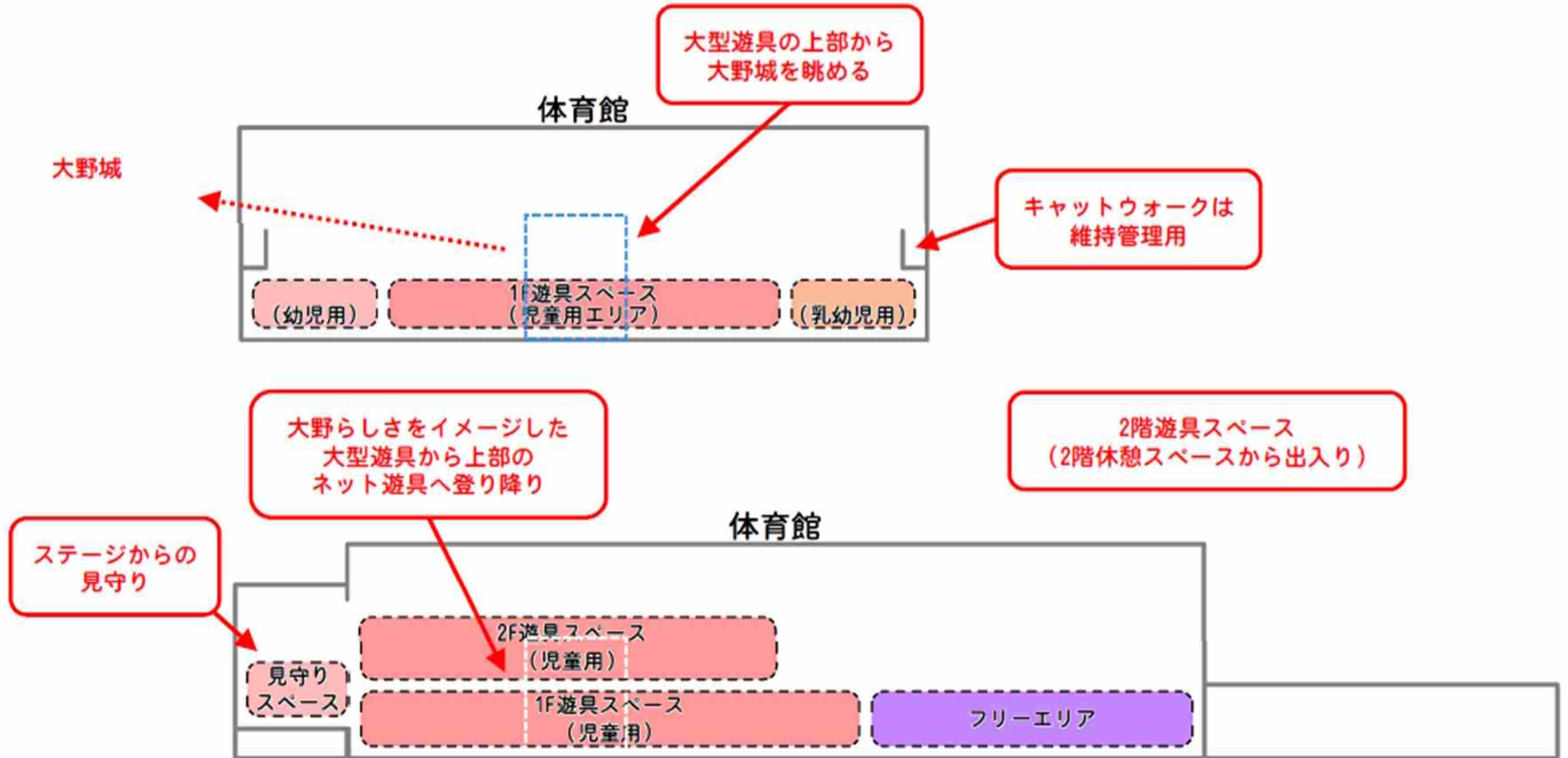
②ゾーニング・配置 (コスト縮減案) 1階



②ゾーニング・配置（コスト縮減案） 2階

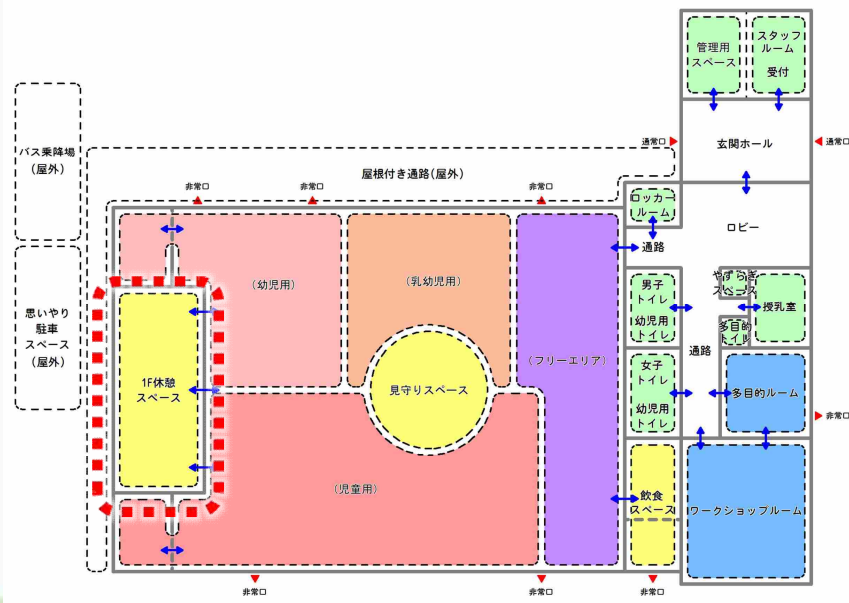


②ゾーニング・配置 (コスト縮減案) 断面



③ 付属スペースと必要な機能 【休憩スペース】

- 現在のステージを休憩スペースに改修
- たたみ、クッションマット等でくつろげるスペースを確保
- 絵本、パズル等、静かに遊ぶコーナーを設置し、保護者等とのふれあいの場とします。
- 壁はガラス張りとし、体育館側からも中の様子を見ることが可能

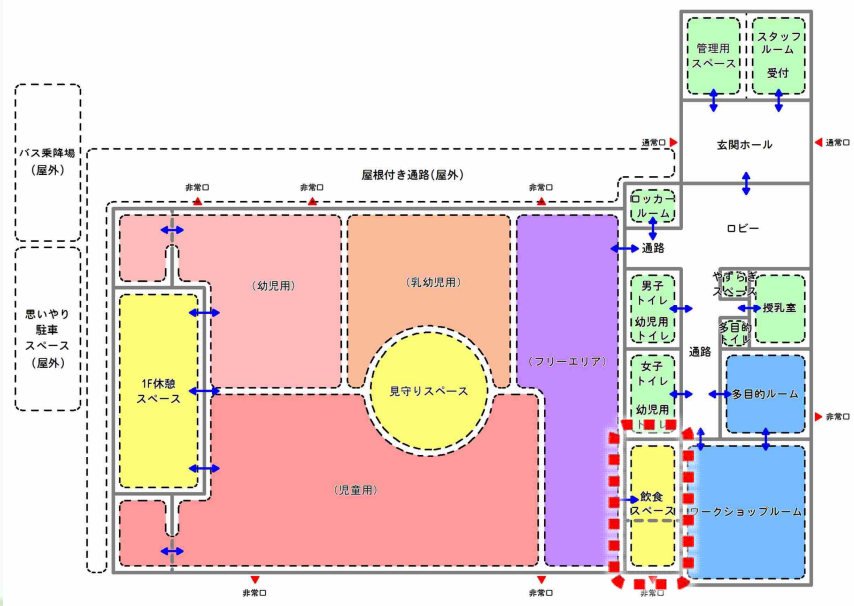


休憩スペース1F
(面積:約94㎡)



③ 付属スペースと必要な機能 【飲食スペース】

- 既設体育器具庫・南側玄関を飲食スペースに改修
- 持参したお弁当やおやつなどを食べることができるスペースを確保
- 食器を洗える簡易流し台や、お弁当や離乳食などの温め用に電子レンジを設置
- 壁はガラス張りとし、体育館側からも中の様子をみることが可能

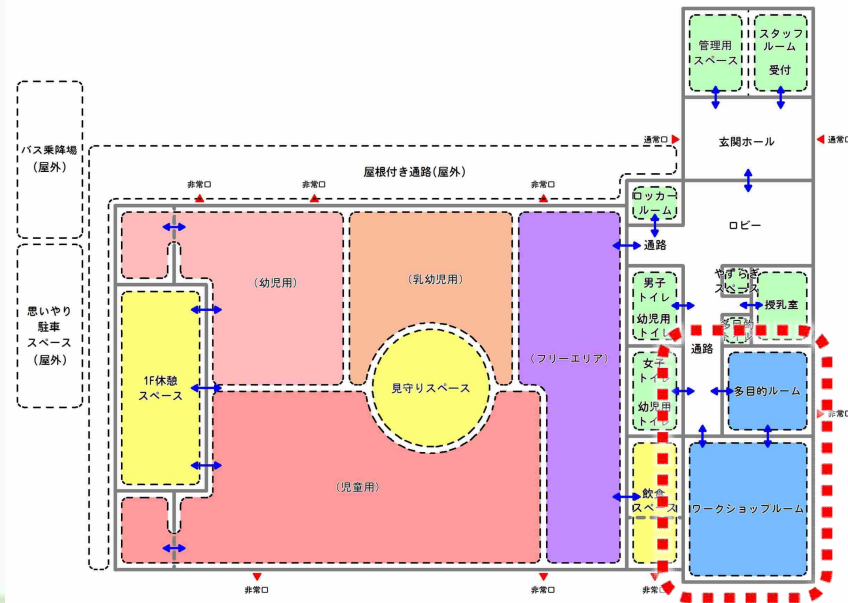
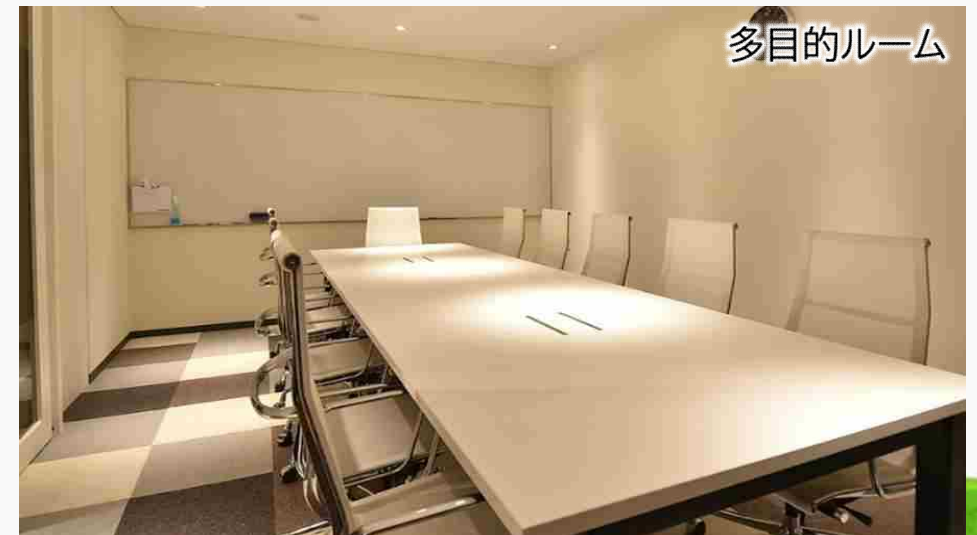


飲食スペース
(面積:約45 m²)



③ 付属スペースと必要な機能 【ワークショップルーム・多目的ルーム】

- 現在の中会議室をワークショップルームに、農業共済連絡所を多目的ルームに改修
- 工作教室や各種ワークショップなどに使えるスペースとし、ダンス教室など多目的な利用が可能
- 多目的ルームとワークショップルームは間仕切りをとって一体的にも利用可能



多目的ルーム
(面積:約48 m²)

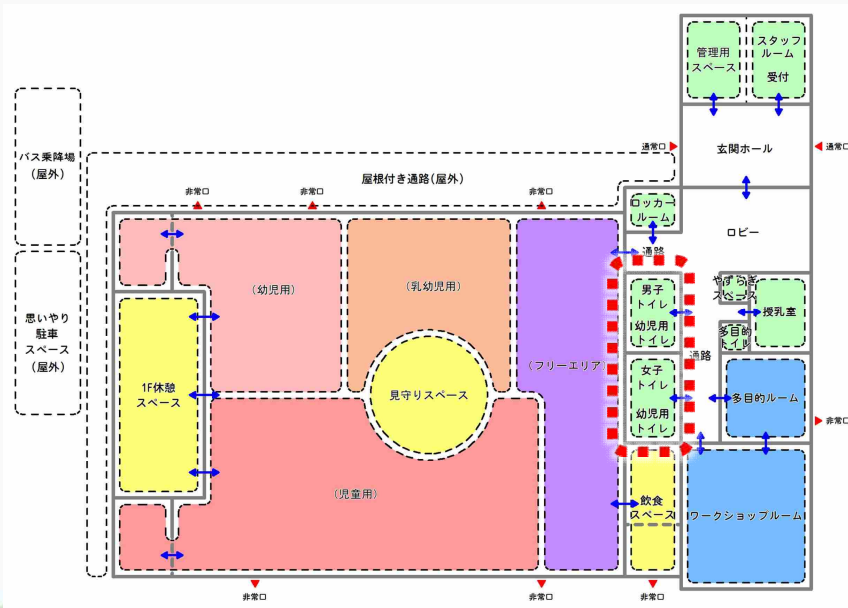
ワークショップルーム
(面積:約113 m²)

③ 付属スペースと必要な機能 【トイレ】

- 現在の男女更衣室をトイレに改修
- 子どもたちが使いやすい幼児用トイレ等の設置
- 保護者が見守りサポートできるようにゆとりあるトイレ空間を確保
- 乳幼児の保護者のために、ベビーベッドやベビーチェアを設置



キッズトイレ



男子トイレ
(面積:約27㎡)
・成人用(小3台、大3台)
・幼児用(小2台、大2台)

女子トイレ
(面積:約30㎡)
・成人用(大6台)
・幼児用(小2台、大2台)



ベビーチェア



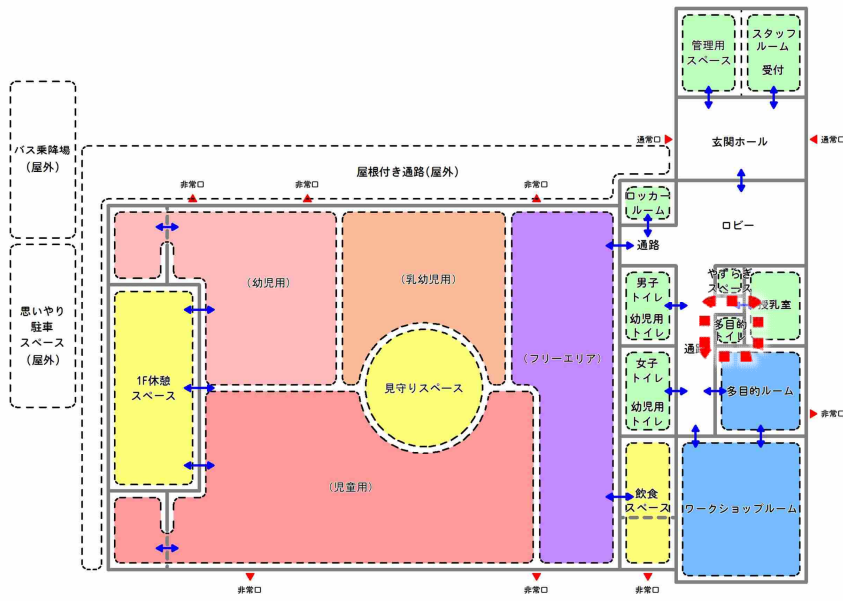
ベビーベッド

③ 付属スペースと必要な機能 【多目的トイレ】

- 既存の多目的トイレを、トイレの機能(車椅子利用、オストメイト)は維持しつつ、子どものおむつ替えや、高齢者、障害者等を含む、より多くの人々が共用でき、多目的に利用できるように大型ベッドを設置



多目的トイレ



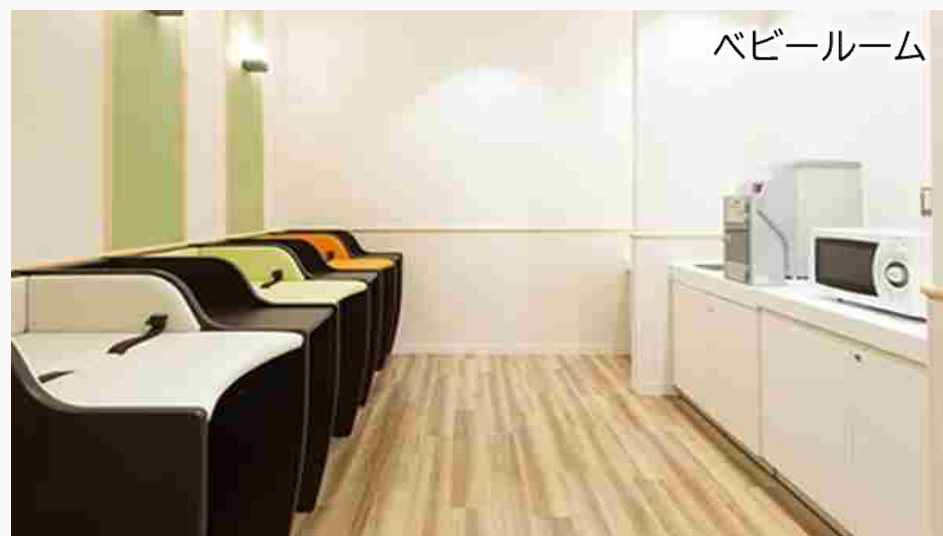
多目的トイレ
(面積:約5㎡)
・大1台
・オストメイト
・大型ベッド



大型ベッド

③ 付属スペースと必要な機能 【授乳室】

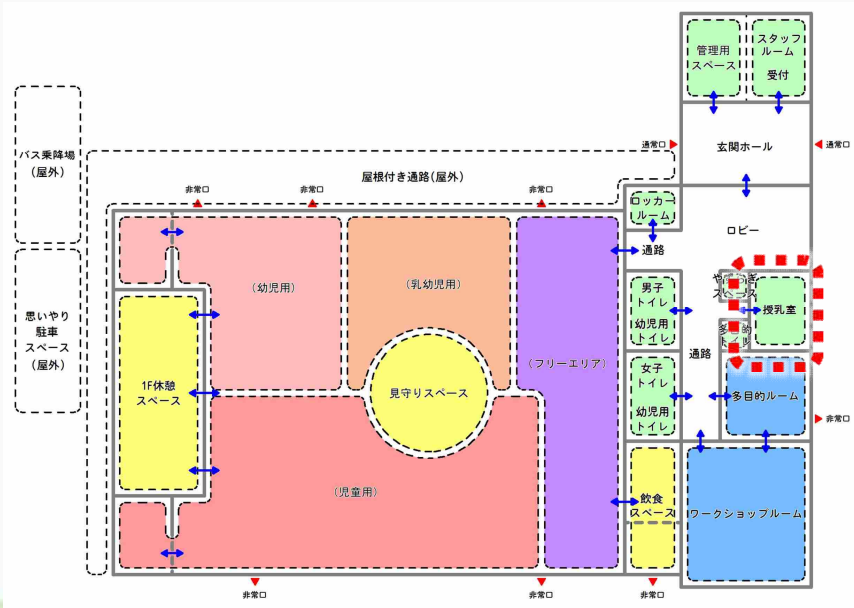
- 現在の男女トイレを授乳室に改修
- ベビールームは男性も使用可能とし、おむつ替えベッドや調乳用給湯器などを設置
- 授乳室は女性専用個室を設置



ベビールーム



授乳室



ベビールーム・授乳室
(面積:約33 m²)

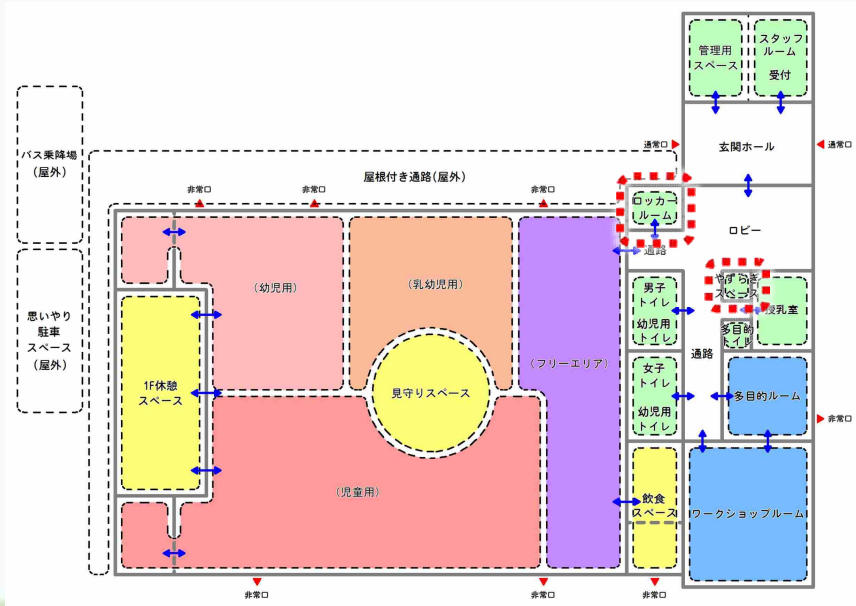
③ 付属スペースと必要な機能

【ロッカー室】

- 現在の授乳室をロッカー室に改修
- 荷物が置けるコインロッカーを設置

【やすらぎスペース】

- 現在の給湯室をやすらぎスペースに改修
- やすらぎ落ち着くことのできる静かな環境を創出



ロッカー室
(面積:約15㎡)
約60箱

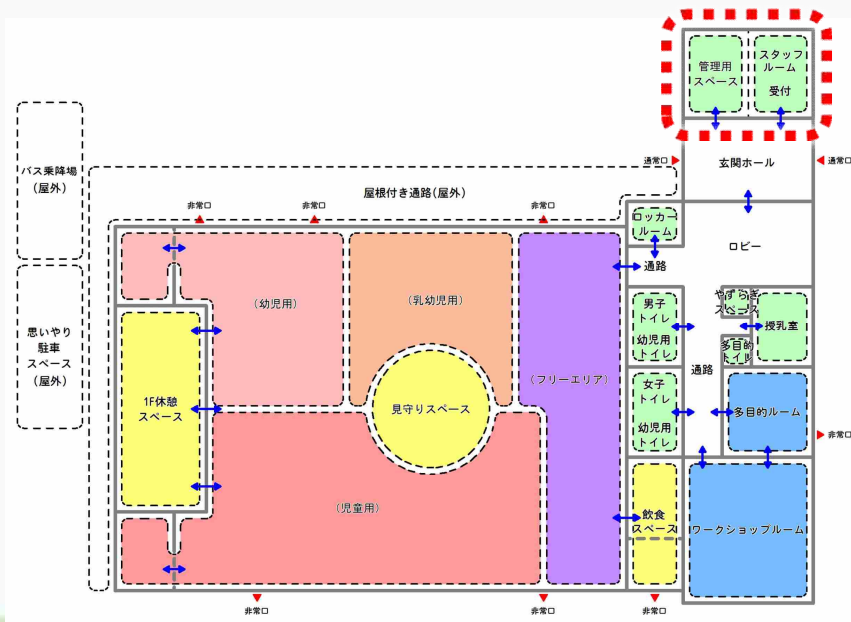
やすらぎスペース
(面積:約5㎡)



③ 付属スペース

【スタッフルーム・受付・管理用スペース】

- 現在の小会議室をスタッフルーム、管理用スペースに改修
- 監視カメラなどにより、常時施設内を安全に管理できる設備を整え、万が一事故が発生しても対応できる設備を整備

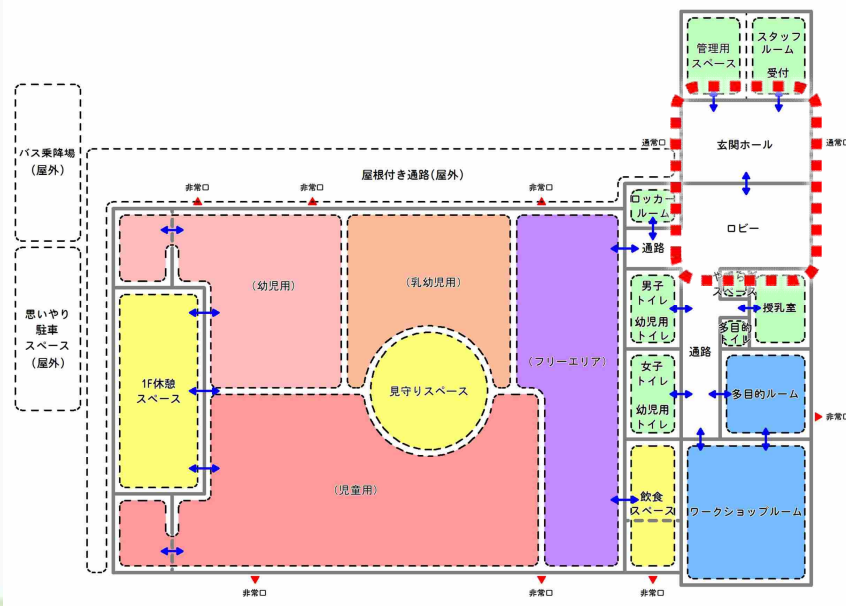
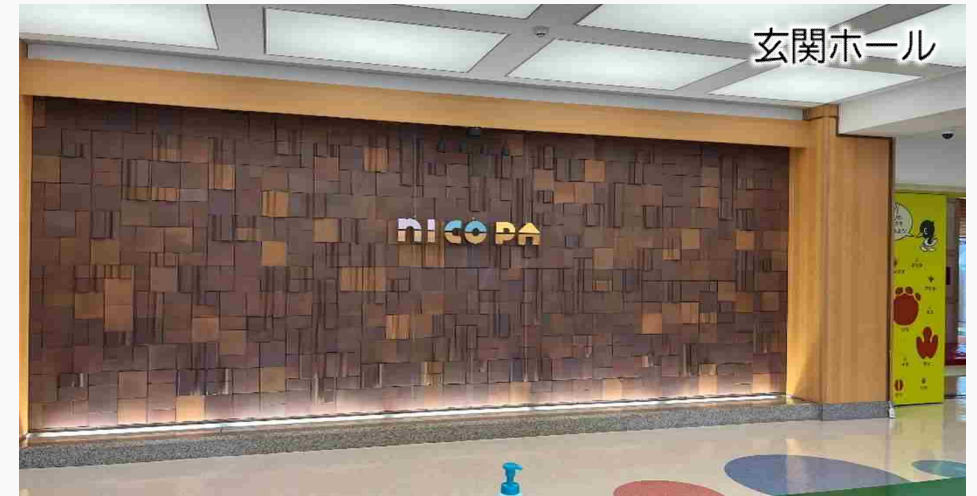


スタッフルーム・
管理用スペース
(面積:約68 m²)



③ 付属スペース 【玄関ホール・ロビー】

- 現在の玄関ホールに、ロビー機能を追加
- ロビーにはソファを設置するほか、子育て支援等の情報を提供
- エントランスらしく、視覚的にも楽しさを感じられる空間を創出



玄関ホール・ロビー
(面積:約129 m²)

④導入する遊具の検討

【遊具に関するアンケートの実施】

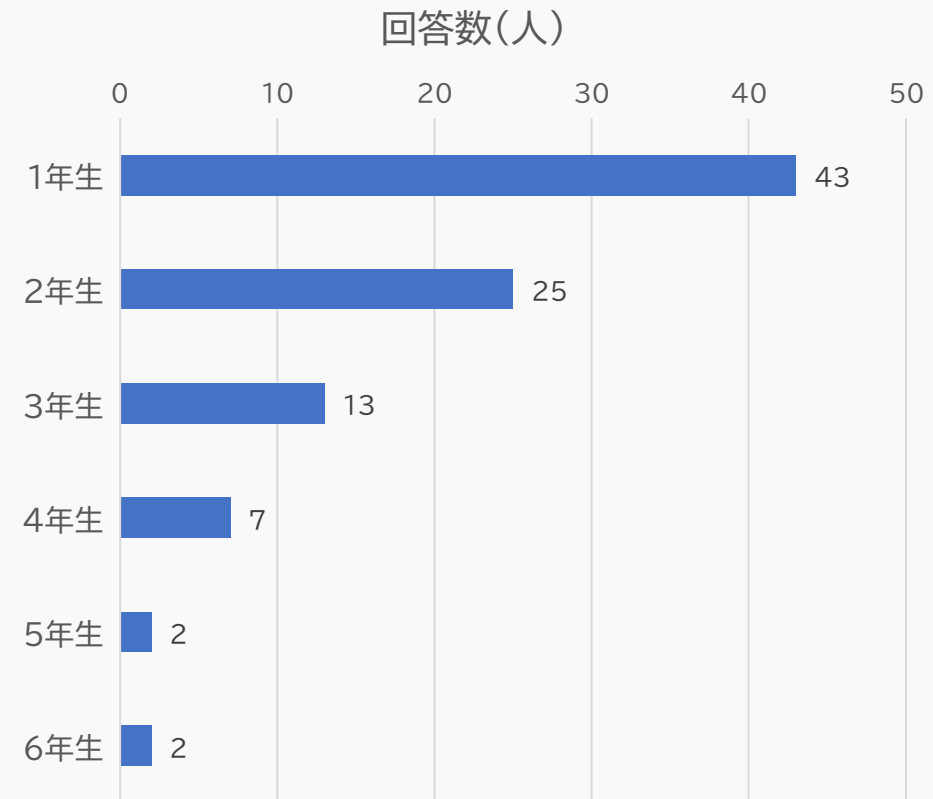
児童館を利用している児童(112名)に
遊んでみたい遊具に関するアンケートを実施(2月8日~15日)

回答総数:92人

アンケート内容

問1. 写真の中から遊んでみたい遊具を
5つ選んで番号を書いてね。
(1位から5位まで順位づけ)

問2. 写真の遊具のほかに、遊んでみた
い遊具があったら書いてね。



①タワーゆうぐ



②ネットゆうぐ



③らせんスライダー



④バンクゆうぐ



⑤テントスライダー



⑥ふわふわドーム



⑦壁のぼり



⑧ボールプール



⑨りったいめいろ



⑩ターザンロープ



⑪おおきなスゴロク



⑫ハンモック



⑬しばふのひろば



⑭クッションゆうぐ



⑮エアバランス



⑯おおきなブロック



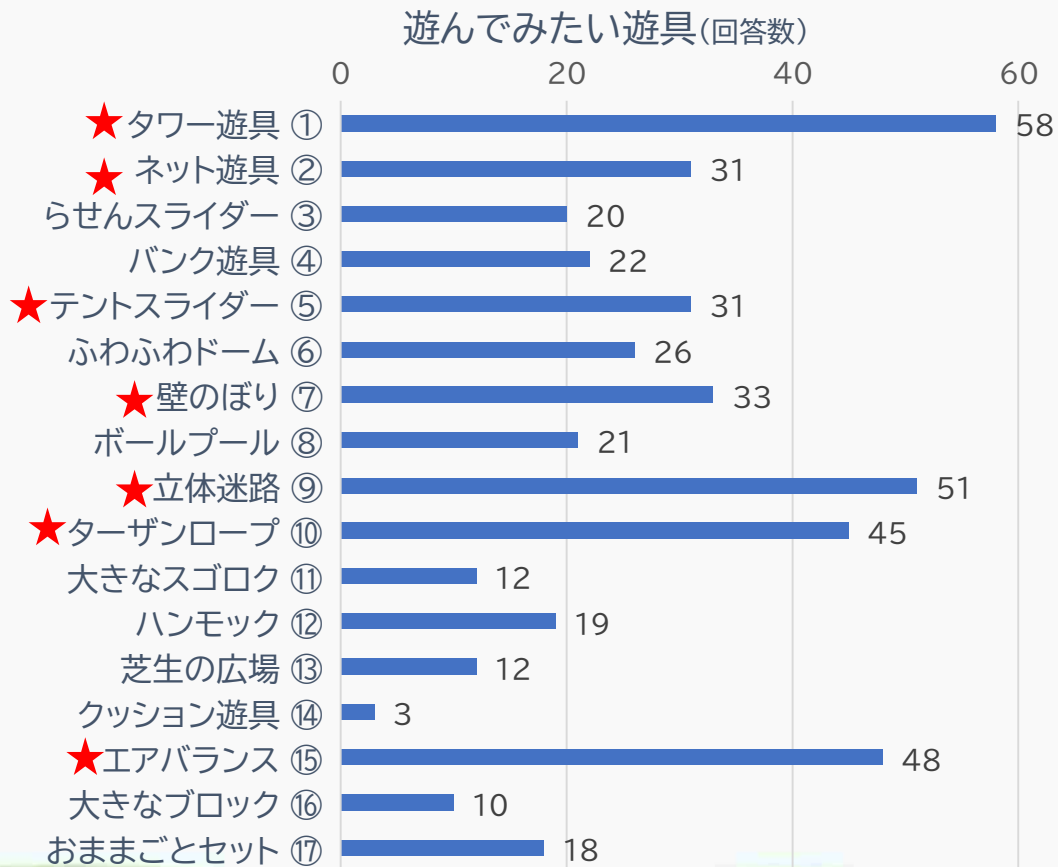
⑰おままごとセット



④導入する遊具の検討

【遊具に関するアンケート結果】

問1. 写真の中から遊んでみたい遊具を5つ選んで番号を書いてね。



①タワー遊具



⑨立体迷路



⑮エアバランス

⑩ターザンロープ



⑦壁のぼり

⑤テントスライダー



②ネット遊具

④導入する遊具の検討

【遊具に関するアンケート結果】

問2.写真の遊具のほかに、遊んでみたい遊具があったら書いてね。

- ブランコ(7)
- トランポリン(6)
- 迷路(5)
- 巨大すべり台(4)
- マンガコーナー(3)
- トレーニングルーム/マシーン(2)
- ドッチボール/ドッチビー(2)
- 回るボールプール(2)
- 卓球セット(2)
- アスレチック(2)
- うんてい(1)
- 鉄棒(1)
- ゲームコーナー(1)
- タイムアタック(1)
- バasketコート(1)
- パルクール(1)
- バレーコート(1)
- 一輪車(1)
- 屋外水遊び(1)
- 絵本コーナー(1)
- 工作コーナー(1)
- 人形場(1)
- プール(1)

※ 括弧内数字は回答数を示す。

④導入する遊具の検討

【遊具に関するアンケート結果】

昨年10月 市内保育園、幼稚園、小学校に通う子どもの保護者を対象にしたニーズ調査

■乳幼児

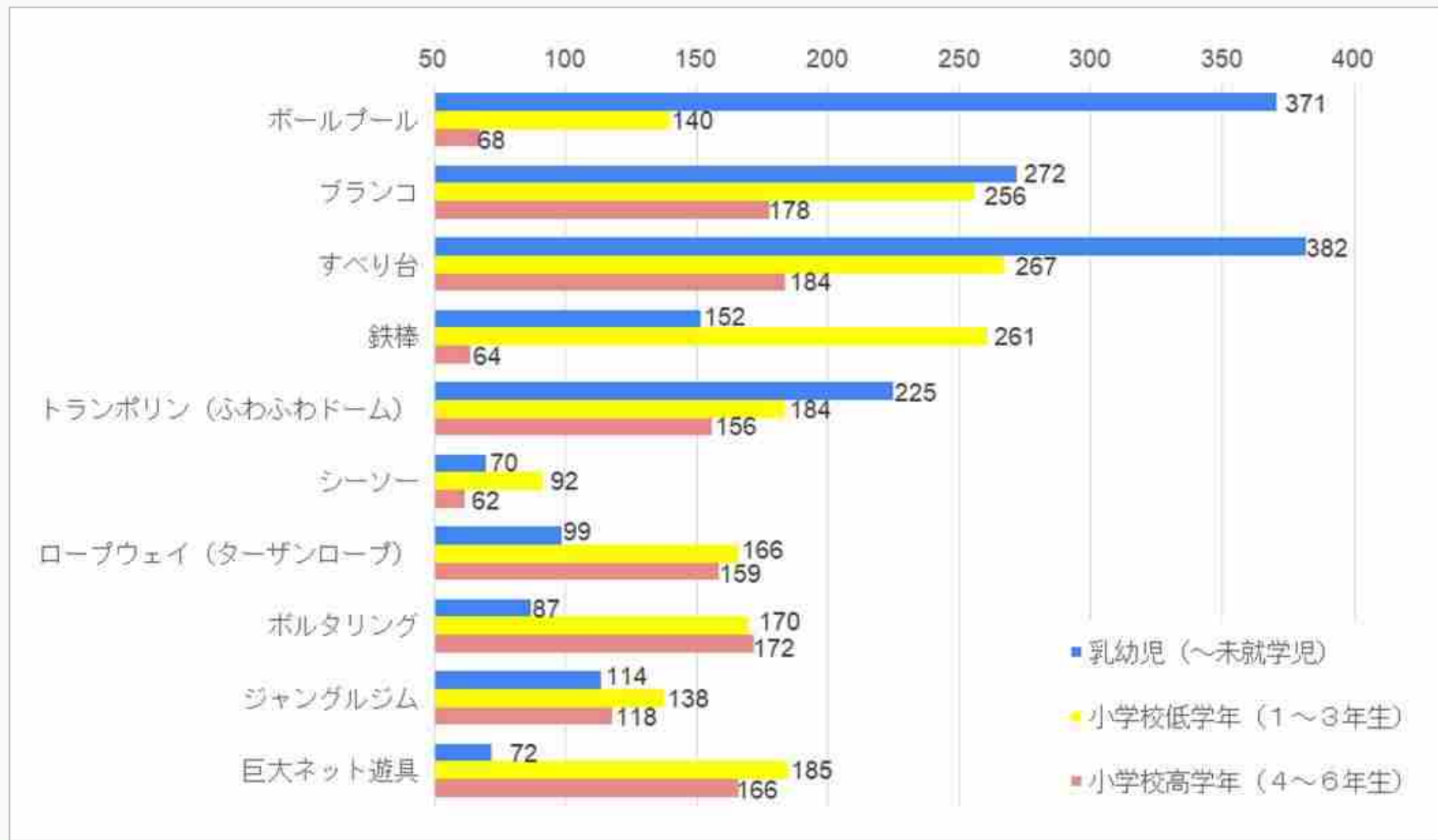
- ①すべり台
- ②ボールプール
- ③ブランコ
- ④トランポリン
- ⑤鉄棒

■小学校低学年(1～3年生)

- ①すべり台
- ②鉄棒
- ③ブランコ
- ④巨大ネット遊具
- ⑤トランポリン

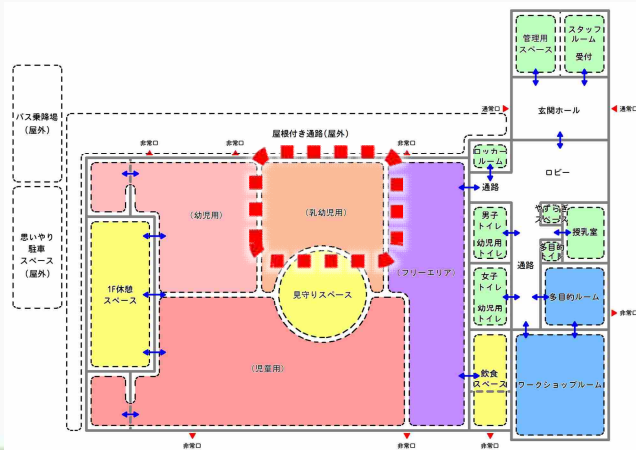
■小学校高学年(4～6年生)

- ①すべり台
- ②ブランコ
- ③ボルタリング
- ④巨大ネット遊具
- ⑤ロープウェイ



④導入する遊具の検討 (1F)

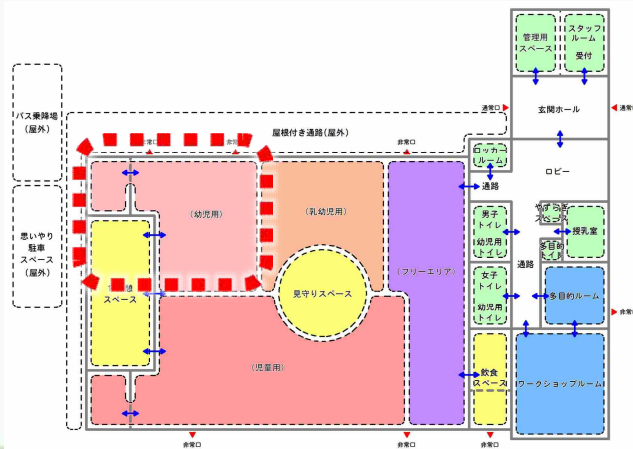
乳幼児用遊具エリア(1~3歳)



- 保護者と一緒に遊ぶことを前提に、子どもの発達段階(すわる・立つ・歩く・走る)に応じた遊びを提供し、発達を促す工夫を凝らした大野らしさ(恐竜など)をちりばめたオリジナルな遊具の設置
- 児童と幼児の動線の交差を防止するため境界柵を設置
- 床にはクッションマットを敷き、遊具にも柔らかい素材を使用

④導入する遊具の検討 (1F)

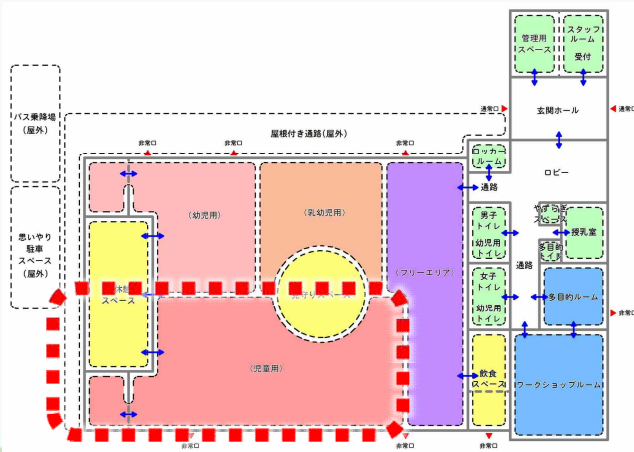
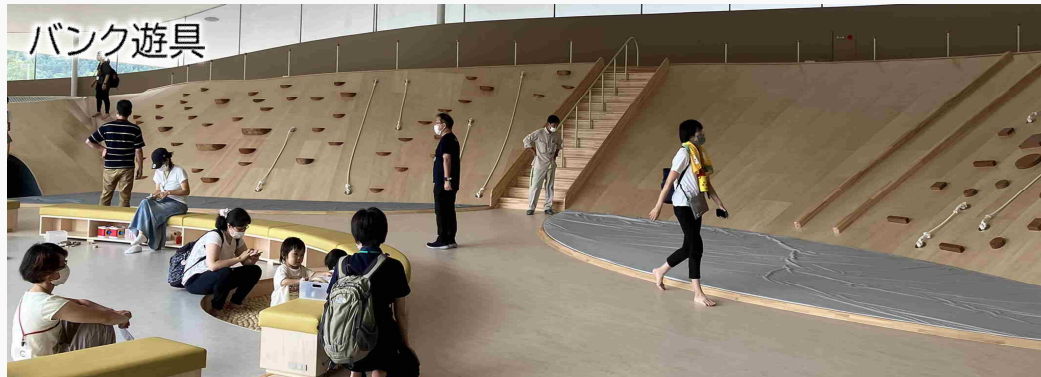
幼児用遊具エリア(3~6歳)



- 大野の**城下町**をモチーフとした複合遊具を設置し、幼児の身体能力などを考慮して、様々な体験ができるよう多くの遊びの種類を取り入れる
- その他、ボールプールやトランポリンなど、幼児に人気の高い遊具を取り入れ、循環的な遊びができるようバランス良く遊具を配置

④導入する遊具の検討 (1F)

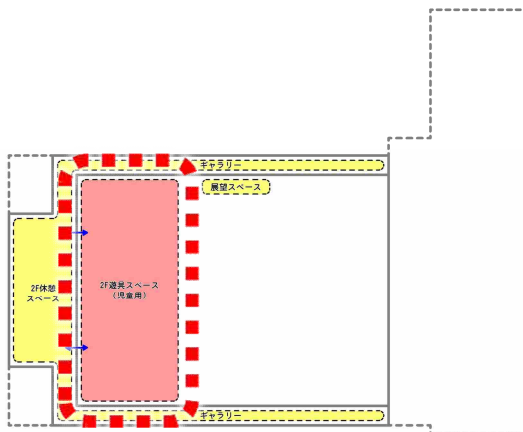
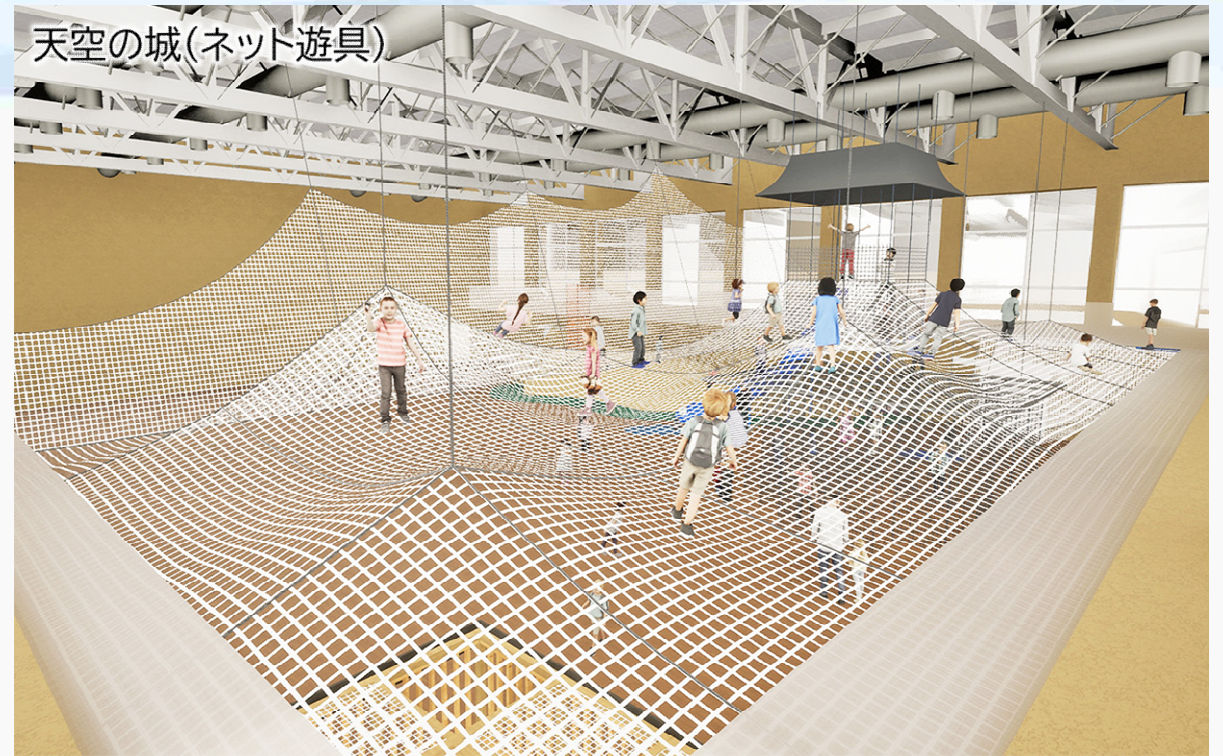
児童用遊具エリア(6~12歳)



- 体育館の縦横の空間を有効利用し、アンケートでも人気の高かったタワー型の立体迷路を設置
- 地元の木材を使用し、大野の自然(荒島岳など)をイメージさせる高低差のある遊具(バンク遊具など)を設置

④導入する遊具の検討 (2F)

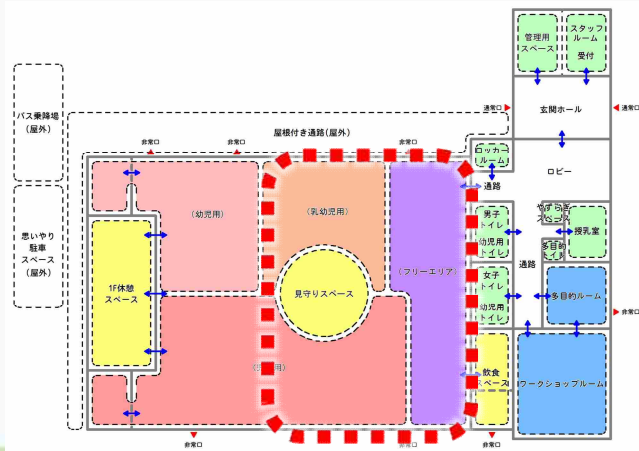
児童用遊具エリア(6~12歳)



- 1階の立体迷路が2階に広々と張られたネット遊具から突き出て、雲海に浮かぶ**大野城(天空の城)**をイメージさせる遊具を設置
- 2階から1階へ降りる高低差のあるすべり台を設置
- 児童達のチャレンジ精神をかき立て、思いっきり遊べる遊具を設置

【フリーエリア】

- 体育館の入り口付近は、広々とした空間を確保し、人工芝の設置などにより、子どもたちが自由に走れ周れたり、各種イベントに利用



【見守りスペース】

- 保護者が遊具で遊ぶ子どもを見守る、遊びの合間の休憩所として、ベンチやソファなどをエリア全体を見渡せる場所に設置

⑥バリアフリー・安全管理対策

バリアフリー

- 遊具は、障害のある方でも遊べるインクルーシブな遊具も取り入れ、だれもが楽しめる遊び場を創出
- 手洗い、カウンター、サインの高さなど、子どものスケールに合わせたユニバーサルデザインを考慮した施設整備
- 滑りにくい床材の使用
- 十分な廊下幅・扉幅の確保
- 床の段差の解消
- 手すりの設置
- 屋外の駐車場から館内までスムーズな移動が可能
- 明確なゾーニングや、認識しやすいグラフィックのデザインを行い、多世代の利用者に分かり易いサイン計画

安全管理対策

- 室内での衝突事故を防ぐため、利用者の動線が交差しにくい歩行動線
- 遊具には使用人数制限を設けるなど、利用者が多いときでも安全に遊べる環境を整備
- 遊具は、管理者による日常点検や、専門業者による定期点検を行い、劣化等による事故の防止
- 鉄骨に耐火被覆を行うことで耐火建築物とし、内装材についても不燃材を用いるほか、初期消火のための十分な設備を整備
- 日常及び避難時とも機能的でわかりやすいサイン計画

⑦ 駐車場について

越前おおのまちなか交流センター周辺の駐車場

駐車可能台数

- ・ 乗用車 : 138台(うち身障者用5台)
- ・ 大型バス : 8台

利用状況

イベント時

- ・ 乗用車駐車台数 **131台** → 余裕 7台

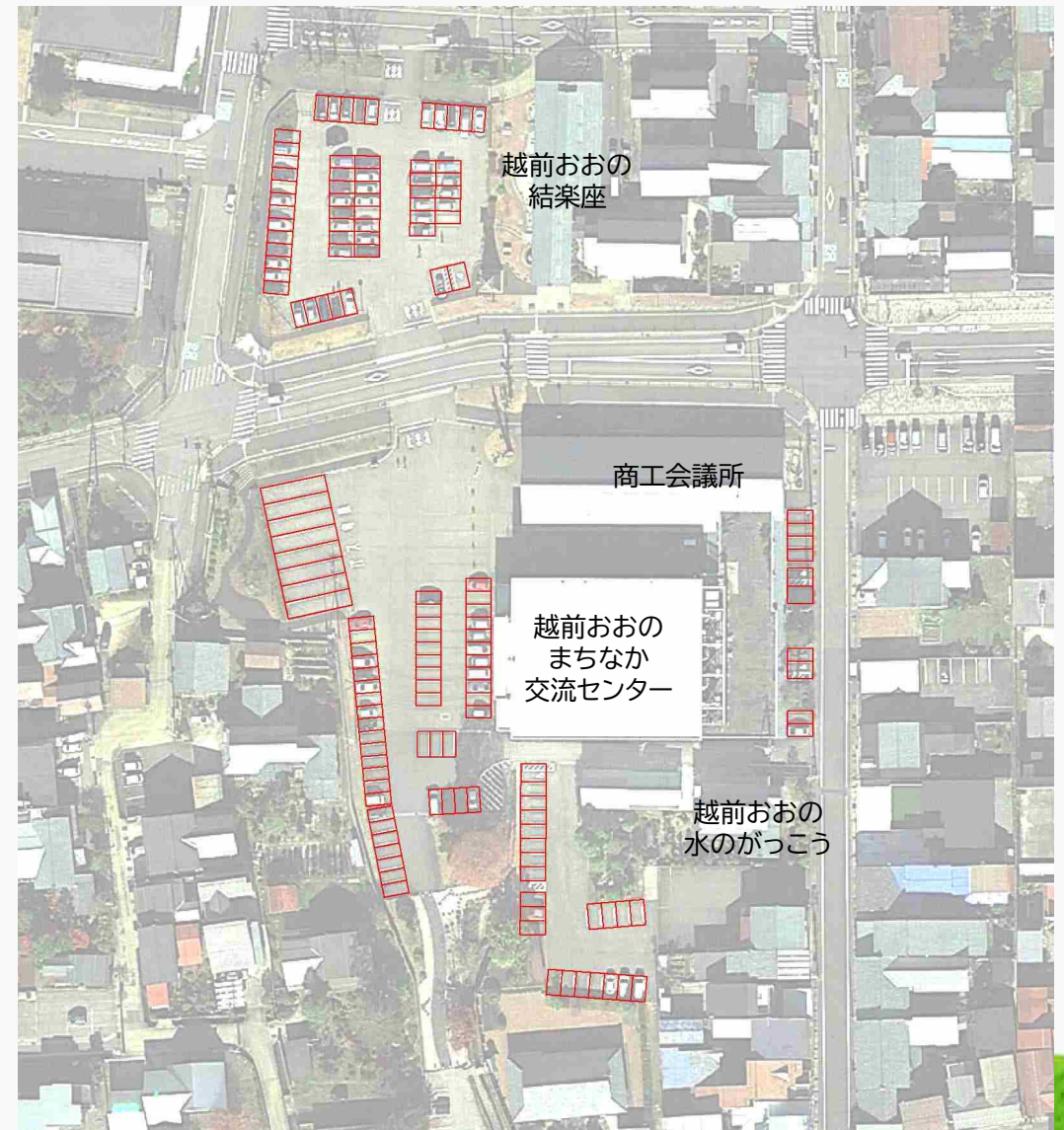
土・日・祝日

- ・ 乗用車駐車台数 **120台** → 余裕18台

平日

- ・ 乗用車駐車台数 **77台** → 余裕61台

※ H30,R3大野市駐車場状況調査における最大時駐車台数



⑦ 駐車場について

駐車場の整備方針

屋内型子どもの遊び場を整備することにより、利用者が増加し駐車場が不足する恐れ

1. イベント時

まちなか交流センター周辺の駐車場だけでなく、城下町東・西・南広場駐車場など周辺の駐車場を活用

2. イベント時以外

まちなか交流センター周辺で駐車場を確保

- ・屋内型子どもの遊び場利用者
- ・まちなか観光による利用者

屋内型子どもの遊び場の必要駐車台数

必要駐車台数の予測

同時利用者数：172人（最大）

必要駐車台数：57台（最大） 車1台当たり3人乗車と設定

※ かがにこにこパーク(加賀市)、かほつくる(かほく市)の利用状況を基に予測

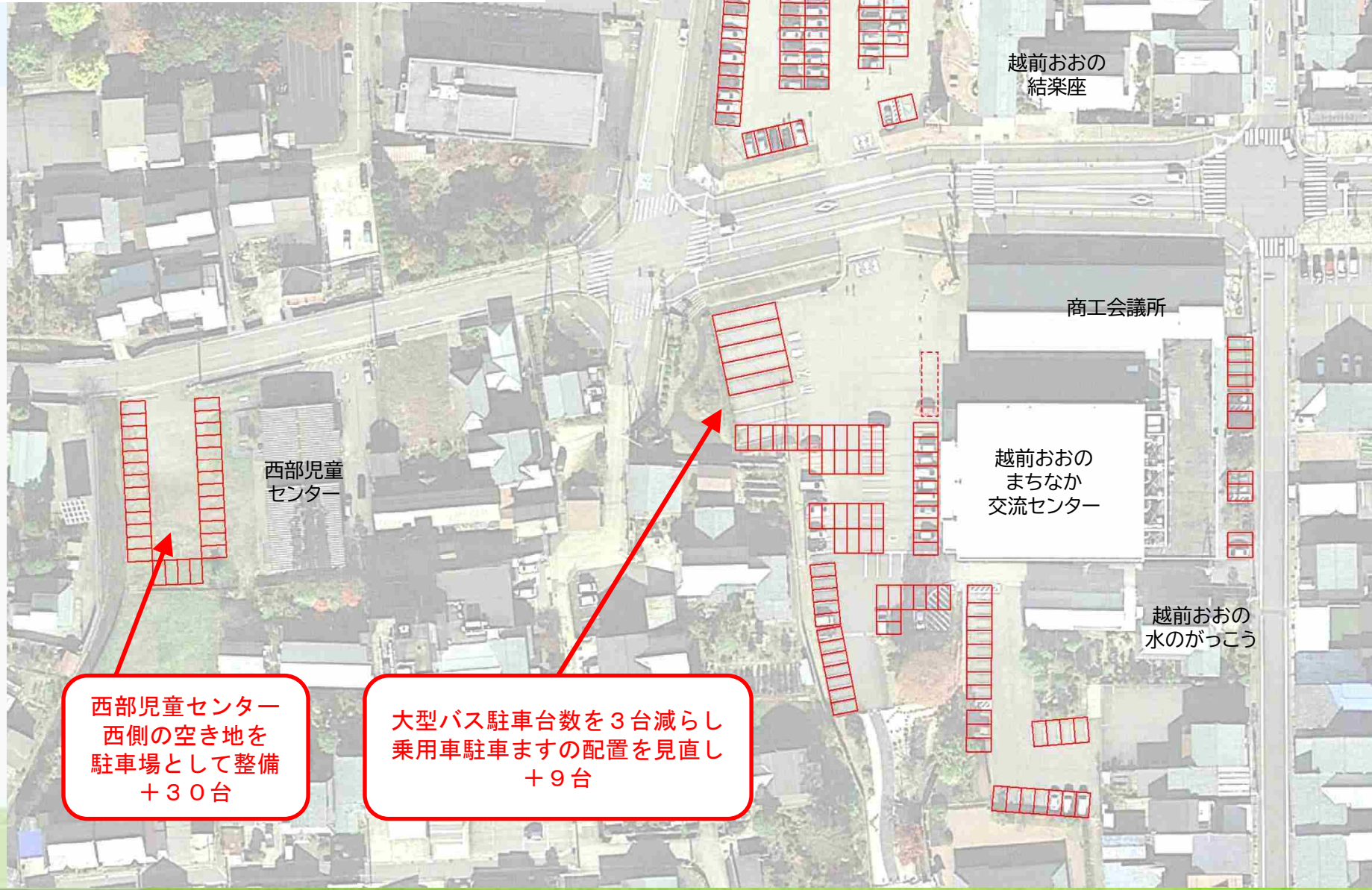
まちなか交流センター周辺に必要な駐車台数

乗用車駐車台数(土・日・祝日)

120台(現状) + 57台(増加分) = 177台

177台 - 138台(現駐車場) = 39台(不足)

⑦ 駐車場について(案1)



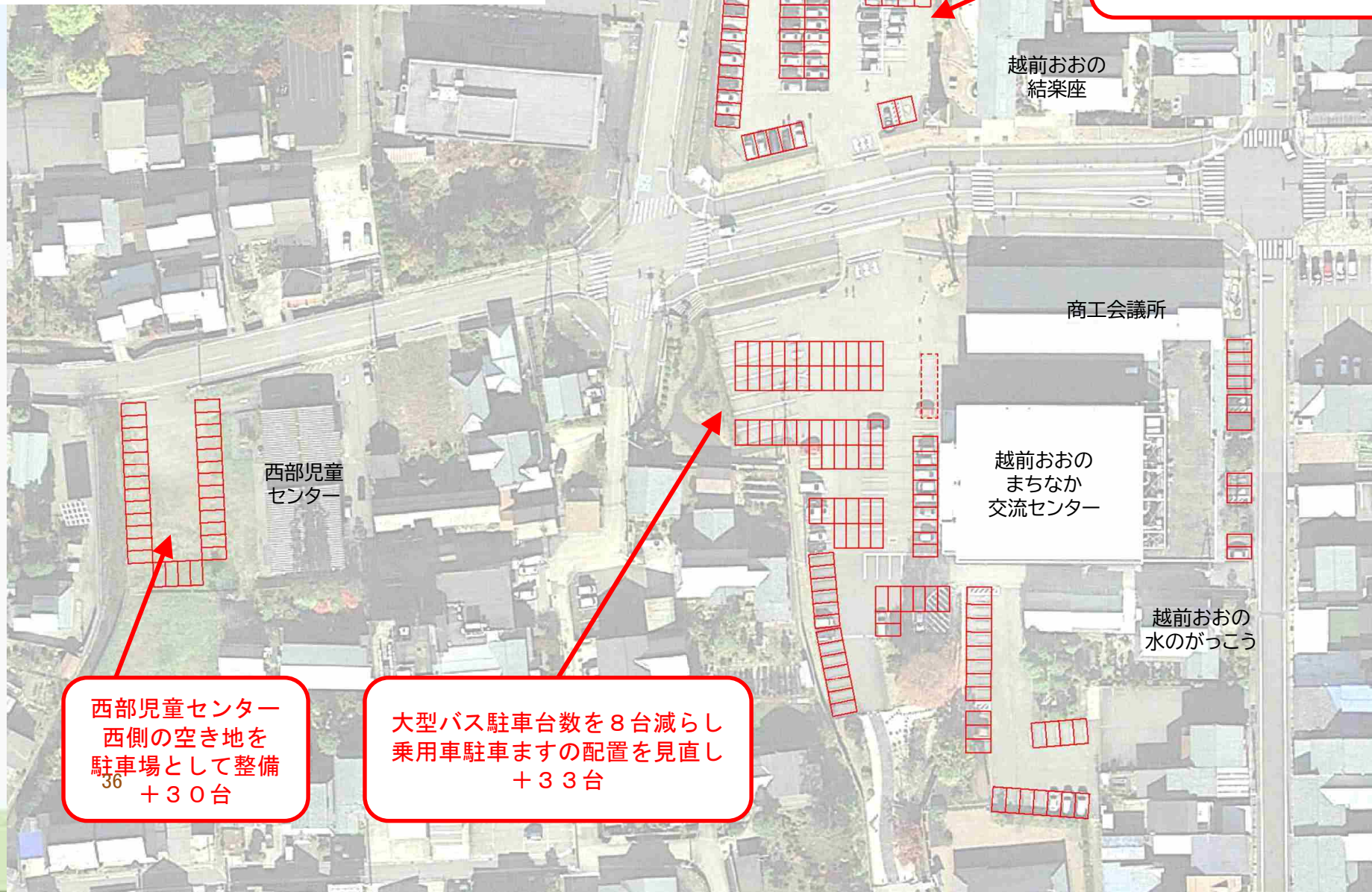
西部児童センター西側の新たな駐車場整備と、大型バス駐車場の見直しにより不足する39台分の駐車場を確保

乗用車駐車場	
交流センター横	+ 9台
児童センター横	+30台

計	+39台 (全177台)

大型バス駐車場	
交流センター横	5台

⑦ 駐車場について(案2)



大型バス駐車台数を4台確保
乗用車駐車ますの配置を見直し
-18台

西部児童センター
西側の空き地を
駐車場として整備
+30台

大型バス駐車台数を8台減らし
乗用車駐車ますの配置を見直し
+33台

西部児童センター西側の新たな駐車場整備と、大型バス駐車場の見直しにより不足する39台分以上の駐車場を確保

乗用車駐車場	
結楽座横	-18台
交流センター横	+33台
児童センター横	+30台

計	+45台 (全183台)

大型バス駐車場	
結楽座横	4台

⑧管理運営に係る基本方針

基本計画段階での施設の管理運営に関する基本的な方針

※詳細な管理運営方針については、別途協議

1. 施設は指定管理者の運営とします。
2. 施設の利用料金は市内の子どもは無料とし、自由来館とします。
3. 施設の入館は原則として保護者または引率者の同伴とします。
4. 施設での飲食は衛生面や安全面等を考慮し、飲食は、専用スペースを設けます。
5. 施設の利用には、子どもが仲良く、気持ちよく遊ぶ場として、利用のルールを設けます。